

【報道関係者各位】

2025年11月14日

【開催レポート】「EARTH BEAT FES 2025」2025年11月8日(土)・9日(日)
モデルのローラさんが登壇「農業を通じて自然に生かされていることを実感」
お米にフォーカスした会場で1000人がおにぎりで乾杯、ライブキッチンメニューや物販が人気

つくる人、届ける人、食べる人みんなで食の未来を考え、つながりを全身で体感する畑のフェスイベント「EARTH BEAT FES 2025」(主催:株式会社オイシクル 運営実行:オイシックス・ラ・大地株式会社《以下 当社》、株式会社KURKKU FIELDS)は2025年11月8日(土)・9日(日)の2日間にわたり、千葉県木更津市のクルックフィールズにおいて初開催し、来場者は2日間で2,300人を超えました。

オープニングには今年初めて農業にチャレンジしたモデルのローラさんが登壇。トークセッションを通じ、身近な食の未来につながるメッセージを発信したほか、昨今注目の集まる「お米」を中心としたコンテンツやワークショップ、収穫体験、ライブキッチンやマルシェ、人気アーティストによる音楽ライブを実施。またオンラインでもお買い物、野菜の栽培体験やライブ配信を行いました。<https://oisikur.jp/earthbeatfes>



▲モデルのローラさんが「EARTH BEAT パートナー」として参加 ▲音楽ライブやトークを楽しみながらこの日だけの食体験も

EARTH BEAT FES とは～みんなで食の未来を考え、つながりを全身で体感する2日間～

都内から約1時間の好アクセス、東京ドーム約6個分の敷地面積を誇る農場・クルックフィールズで初開催となった「EARTH BEAT FES 2025」は、つくる人、届ける人、食べる人が一堂に会し、ここでしか食べられないおいしさや数々の体験を通じ、全身で食の未来に想いを馳せることができるコンテンツを提供しました。

旬野菜が実る畑での収穫体験、全国から集まった生産者が出店するマルシェ、シェフがその日会場に届いた野菜でメニューを決め調理、提供する「ライブキッチン」。会場内に参加者が描き出すアート、そしてこの日だけの音楽ライブを通して全身で体感するおいしい物語を、明日につなげる機会を創出しました。

初開催の「畑のフェス」 当日の様子は

今年から無農薬での米作りに挑戦し、田植えや稲刈りの体験を通じて日本の食の作り手の問題、自然農業の楽しさを発信しているモデルのローラさんが「EARTH BEAT パートナー」として参加しました。各地から集まった農家とともに「農とライフスタイル～生き方を耕す～」と題したトークセッションに、食の作り手のひとりとして登壇。続くセッションでは、熊谷千葉県知事が「おいしい物語を、明日につなぐ～現代社会の食を取り巻く課題と希望～」というテーマでKURKKU FIELDS代表小林武史氏、当社代表高島宏平とのトークセッションに登壇しました。

来場者に地元の新米で握ったおにぎり各日500個を振る舞い、お米作りに関わった全ての人への感謝を込めて乾杯するパフォーマンス「おにぎり1000人とつながろう」では会場が一体となり、現代美術家・浅井裕介さんと共に、園内の道に描き出すアート制作体験を通じ、生き生きとした野菜の白線素材が刻みつけられました。鶏やサーモンが美味しい料理になるまでの一連を知り、「いただきます」の本当の意味を考えるワークショップは両日とも満席に。開墾中の棚田では収穫されるお米の将来を考える「投票所」が出現しました。

「たべて、つくって、出会えるマーケット」では14店のフード、20店のマルシェ、9つの農・食体験、3つのものづくり体験ブースが出店し、人気店のシェフ6名が当日集まった各地の野菜を使って即興でメニューを考案、調理して販売するライブキッチンは早々に完売が出るなど、各エリアは終日賑わいを見せていました。

本リリースに関するお問い合わせ

オイシックス・ラ・大地株式会社 広報:丸尾

TEL: 050-5305-0549(直通) E-mail: publicity@oisixradaichi.co.jp

(上記内容は断りなく変更される場合があります/最新情報は上記お問合せ先までご連絡ください)

【ローラさんからのメッセージ】



▲開会式で挨拶するローラさん

自分の農業への思いと今回のイベントがすごくぴったり合っているなと思ったので、今日はお誘いいただき嬉しかったです。会場は自然に満ちていて、歩いているだけで癒やされました。

私は、まだ農業の経験は浅いけれども、畑に行くとか心が明るくなるし、土に触れていることで「足るを知る」を感じるの。農のおかげで私たちは生きてこられたんだな、食べ物のおかげで命がここにあるんだなという思いが強くなっていきます。トークでは色々な場所で農業をやっている人の体験が聞けて楽しかった。場所は違ってもみんな繋がっているという気持ちになりました。

モデルのお仕事と違って、農業ではこの日に田植え、このあたりが収穫と思ってスケジュールを入れても、お天気に左右されて思い通りにならない。そんな農に自分が合わせていくことで、自然の一部となって生きる感覚が大きくなっています。畑を手伝ってくれた人たちとつながりが広がって、新しいアイデアもどんどん湧いてきて、今とてもワクワクしています。

【当日の様子から】



▲食の作り手としてトークセッションに登壇後のローラさん



▲フォトセッションを行う熊谷千葉県知事、小林武史氏、高島宏平



▲全国各地から食の作り手が集まったマルシェエリア



▲アオイヤマダさんによる、おにぎりでの乾杯パフォーマンス



▲ライブキッチンではその日届いた食材で即興のメニューを考案



▲ビュッフェ形式で出店者の野菜を楽しむ「農家のまかない」

本リリースに関するお問い合わせ

オイシックス・ラ・大地株式会社 広報：丸尾

TEL: 050-5305-0549(直通) E-mail: publicity@oisixradaichi.co.jp

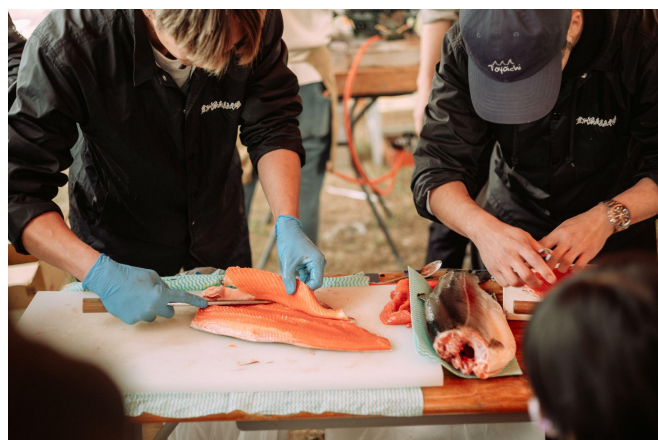
(上記内容は断りなく変更される場合があります/最新情報は上記お問合せ先までご連絡ください)



▲トークセッションの座席は農家さんが休憩にも使うコンテナ ▲参加者が自分の手で苗を植え付け、収穫まで見守る試みも



▲木更津の陸上養殖を含む3種のサーモンを食べ比べる企画 ▲味わいながら、いのちと向き合う貴重な体験となりました



▲魚種による脂の違いや、魚の調理のコツも学べる時間に ▲食べたあと、マルシェで実際に野菜をつくった生産者と交流も



▲予約が取れない人気店シェフが腕を振るう「ライブキッチン」▲旬のサツマイモ収穫後、大地に並べた高温の石で焼き上げます

—— 本リリースに関するお問い合わせ ——

オイシックス・ラ・大地株式会社 広報：丸尾

TEL: 050-5305-0549(直通) E-mail: publicity@oisixradaichi.co.jp

(上記内容は断りなく変更される場合があります/最新情報は上記お問合せ先までご連絡ください)

《開催概要》

イベント名：EARTH BEAT FES 2025

日時：2025年11月8日(土)・9日(日)10:00-17:00

会場：オフライン会場 クルックフィールズ(千葉県木更津市矢那2503)

オンライン会場 <https://earthbeatfesonline.square.site/>

オフライン会場入場チケット：大人2,200円(中学生以上)、小学生以下1,100円 ※税込 未就学児入場無料

公式サイトURL: <https://oisikur.jp/earthbeatfes>

主催：株式会社オイシクル(運営実行：オイシックス・ラ・大地株式会社、株式会社KURKKU FIELDS)

【EARTH BEAT パートナー】ローラ

【EARTH BEAT LIVE】アオイヤマダ／小林武史／Salyu／四家卯大／xiangyu／Monaural mini plug／HUGEN／藤巻亮太

【トークセッション登壇者】朝霧重治／安齋伸也／井上隆太郎／岡住修兵／君島悠矢／熊谷俊人／小嶋正太郎／小林武史／坂尾篤史／島袋隆史／相馬夕輝／高島宏平／高橋竜太／武末克久／中條大希／仲野晶子／徳光康平／徳本修一／長谷川ミラ／柳田大地／山崎能央

【当日特別配信】高山都

【マルシェ・フード】オイシクルがつなぐ、農家のまかないテーブル／房総の恵みを五感で感じる suscrea スペシャルランチコース／beard 原川慎一郎／CIMI restaurant 向井知／田舎の大鵬 渡辺幸樹／CHARCUTERIE (KURKKU FIELDS)岡田修／中むら食堂 中村拓登・中村麻矢／perus (KURKKU FIELDS)宮城久志／AMBESSA & CO／あんざい果樹園・一般社団法人たべるとくらしの研究所／明日を考える、お米の直売所／Bocchi／COEDO BREWERY／Co・En Corporation／comorebi farm／domaine tetta／八方美米・八方美菜／稲とアガベ／Jeera & Dhania／上川大雪酒造株式会社／kiredo／こうめ／MILKBREW COFFEE／mitosaya／苗目／N.E.W.S project／NORAFARM／ONIBUS COFFEE／patisserie code／ぷくぷく醸造／ROOSTER／里のMUJI みんなみの里／SHO Farm／SOU FARM／SOYSCREAM!!!／スープスタンド by Oisix ra daichi／SUNDAY JAM's CLUB／焼きそば by KURKKU FIELDS CHARCUTERIE／夢のマルシェ by Oisix ra daichi

メディアパートナー：FRaU

パートナー：ミヨシ石鹼株式会社／PicoCELA株式会社／株式会社Jackery Japan／ヤンマーアグリジャパン株式会社／井関農機株式会社／SOTO

EARTH BEAT FES

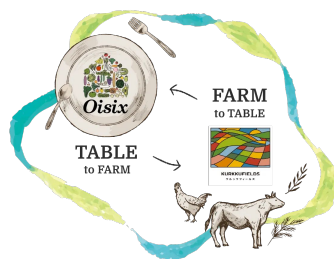
■“これからの畑”を伝えるツアー共催から拡大、オフラインでもオンラインでも参加できる“畑のフェス”に

当社とクルックフィールズの合併会社である株式会社オイシクルは、2024年5月の設立以来、当社の企業理念である、“これからの畑”を当社の定期会員にお伝えするツアーやイベントの定期開催、ならびにクルックフィールズとの商品開発・販売での連携を強化してきました。お互いの強みを活かした取り組みを通じ共に大切にしている想いを一人でも多くの方にお伝えできるよう、オフラインでもオンラインでも参加いただけるイベントとして企画。いのちのてざわりをより身近に感じていただき、日々の生活に豊かさをお届けしたいと考えています。



【合併会社概要】

名称：株式会社オイシクル
所在地：千葉県木更津市矢那2503
代表者の氏名：高島 宏平、小林 武史
事業内容：当社が提供する定期宅配サービス会員
および一般向けのツアー、イベント開催
当社とKURKKU FIELDSの商品開発・Oisixでの販売
設立年月：2024年5月



本リリースに関するお問い合わせ

オイシックス・ラ・大地株式会社 広報：丸尾

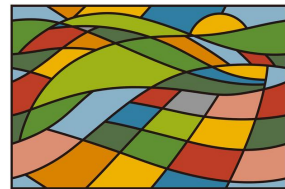
TEL: 050-5305-0549(直通) E-mail: publicity@oisixradaichi.co.jp

(上記内容は断りなく変更される場合があります/最新情報は上記お問合せ先までご連絡ください)

KURKKU FIELDS(クルックフィールズ)について

KURKKU FIELDSは、千葉県木更津市にある約9万坪(30ha)の広大な敷地で「農」「食」そして「自然」の循環を体験してもらえるサステナブルファーム&パークです。おいしく安心・安全に配慮した「食」の提供はもちろんのこと、食と農業の循環、人の手が加わることで多様な生き物の住处となるビオトープなど、さまざまな循環を感じいただける施設です。KURKKU FIELDSはサステナブルな未来の形や“いのちの手触り”を体験できる施設としてお客様をお迎えしてまいります。

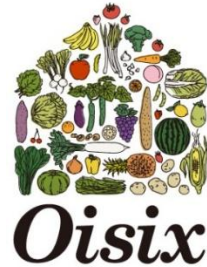
<https://kurkkufields.jp/>



KURKKUFIELDS
クルックフィールズ

食品宅配サービス「Oisix」について

2000年に設立。「つくった人が自分の子どもに食べさせられる食材のみを食卓へ」をコンセプトとした、有機野菜や特別栽培野菜など、できる限り添加物を使用せずに作った加工食品などの食品を取り扱うEC食品宅配サービスです。現在、会員数は360,887人(2025年9月末時点)で日本全国の方にご利用いただいています。必要量の食材とレシピがセットになった、調理時間が10分から作れるミールキット「Kit Oisix」はシリーズ累計出荷数が2億食(2024年8月時点)を突破しています。



オイシックス・ラ・大地株式会社について

オイシックス・ラ・大地株式会社は、「Oisix」「らでいっしゅぼーや」「大地を守る会」の国内主要ブランドを通じ、安心・安全に配慮した農産物、ミールキットなどの定期宅配サービスを提供しています。子会社に、事業所、学校などで給食事業を展開する「シダックスコントラクトフードサービス」、病院、高齢者施設、保育園、幼稚園などで給食事業を展開する「シダックスフードサービス」、買い物困難者向け移動スーパー「とくし丸」、米国でプラントベース食材のミールキットを展開する「Purple Carrot」などがあり、食の社会課題を解決するサービスを広げています。また、「サステナブルリテール」(持続可能型小売業)としてSDGsに取り組み、サブスクリプションモデルによる受注予測や、ふぞろい品の積極活用、家庭での食品廃棄が削減できるミールキットなどを通じ、畑から食卓まで、サプライチェーン全体でフードロスゼロを目指しています。

本リリースに関するお問い合わせ

オイシックス・ラ・大地株式会社 広報:丸尾

TEL: 050-5305-0549(直通) E-mail: publicity@oisixradaichi.co.jp

(上記内容は断りなく変更される場合があります/最新情報は上記お問合せ先までご連絡ください)